学校番号	３０１７

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（１１６日文）美Ⅱ　３０４						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰでの活動体験を基礎に、表現と鑑賞が一体になった課題制作をおこない、制作途中や完成作品の相互鑑賞もおこないます。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を相互鑑賞で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２ 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 発表の様子	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発表の内容 レポート

上に示す観点に基づいて、a：25%、 b・c・d：75%の割合で評価し、５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	美術っていろいろ	【鑑賞】【絵画・彫刻】 【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	ワークシート 活動の様子
	「○○の箱」あの作家かな？ あの作品だ！	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・作品選び 教科書や作品集の中から絵画作品を選ぶ。 ・アイデアスケッチ 模写範囲を決め、その作品世界が箱から出てくるようにスケッチし、支持体の形を決める。 ・制作 板材を下書きの形に糸鋸で切る。 作品に応じて下塗りする。 アクリル絵の具、その他で模写する。 作品に応じて板の側面も着彩する。 裏面に角材を付け、壁面から絵が浮くようにする。 金具を付け、壁面に飾り、見え方を確認する。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 代表的な美術作品の世界が箱から現れるように描くことに関心を持ち、表したい絵を選ぼうとしている。 b: 選んだ作者や作品の画風、特徴や中心となるポイントを表そうとしている。 c: 元作品の特徴を表すために、画風に合わせた筆使いや彩色の工夫をし、計画を基に表現している。また見せ方を工夫している。 d: 元の作者の意図や表現の工夫を感じ取り、読み取った作品のエッセンスを自分なりに再表現し、特徴を伝えている。また、他の再表現者の作品の工夫を感じ取っている。	活動の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 相互鑑賞ワークシート

	小さな彫刻	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・粘土成形による立体作品 例鑑賞 ・アイデアスケッチ ・小型の試作 ・制作 粘土成形（1～2Kg） くり抜き （乾燥・素焼き焼成） ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 粘土の可塑性に関心を持ち、その特性をつかみながら構想を練ったり表現しようとしている。 b: 立体を意識して、見る方向や量感を考えながら計画をたてて進めている。 c: 表したい対象物の量感に合わせ、いろいろな方向から形をとらえ、ヘラなどの道具を使いこなして立体に表現している。 d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、立体表現について理解を深めている。	活動の様子 ワークシート アイデアスケッチ 試作品 作品 制作途中の作品 作品 相互鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。